

第 20 期第 24 回東部海区漁業調整委員会の概要

1 日 時 平成 28 年 4 月 18 日 (月) 午後 1 時 30 分～

2 場 所 青森市 アラスカ会館 2 階「ガーネット」

3 出席者 委員 14 名 (欠席 1 名)

県 水産局長
水産振興課 8 名、
八戸水産事務所 1 名
事務局 5 名

4 概 要

○議案の審議 2 件

**【 議 案 】****(1) 青森県海区漁業調整委員会規程の一部改正について**

青森県海区漁業調整委員会規程の一部を改正し、第 16 条定められて海区漁業調整委員会事務局の組織に関し、従前から置かれていた職に「技師」を加えることとした。

(2) 東部海区漁業調整委員会指示第 2 号に基づくいかつり漁業の新規操業承認について

小田野沢漁協所属船 1 隻、八戸鮫浦漁協所属船 1 隻の新規操業申請について審議の結果、承認することとした。

【報告事項】**① 平成 28 年度年間計画について**

本年度の東部海区委員会では、委員会 6 回、組織会 1 回を開催予定である旨を報告した。

② 平成 28 年度農林水産関係職員の配置について

本年度の県農林水産部幹部職員の配置について報告をした。

③ 第 24 回太平洋広域漁業調整委員会の概要について

去る平成 28 年 3 月 24 日に東京都で開催された標記委員会について報告をした。

(1) 太平洋南部キンメダイに関する委員会指示について

(2) マダラの資源管理の検討状況について

(3) 太平洋クロマグロの資源管理について

(4) 平成 28 年度資源管理関係予算について

(5) その他

④ 平成 27 年度青森県東部海区管内海域まだら底はえなわ漁業試験結果について

平成 27 年度の受託者数 (6 名)、延試験日数 (547 日)、試験結果 (まだら約 975 トン、約 3 億 3 千万円) について、県から報告があった。

委員から、平成28年度漁業試験実施にあたって、ルールを守って責任感をもって操業させるよう意見があった。

⑤ **くろまぐろ型TAC試行に係る青森県計画案について**

県から計画素案について説明があり、今後漁業関係者と詳細を協議修正し、本年7月から試行する予定であり、次回の委員会に結果が報告されることとなった。